

# 令和8年度 福井特別支援学校 スクールプラン

一福井県教育委員会一  
「一人ひとりの個性が輝く、  
ふくいの未来を担う人づくり」

校訓

明朗（あかるくたのしく） 友愛（みんなとなかよく） 忍耐（じっくりしっかり） 自立（じぶんらしく）

目指す児童生徒像

自分らしく輝ける子ども

小低：元気・やる気いっぱいの子ども  
中：笑顔で意欲的に学ぶ子ども

小高：友達と楽しく活動する子ども  
高：たくましく前に進む子ども

学校教育目標および教育方針

<学校教育目標>  
一人一人の教育的ニーズや発達段階等に応じたきめ細やかな指導を通して、生きる力を育み、自立と社会参加の実現を目指す。  
<教育方針>  
○肢体不自由教育の専門性を発揮し、児童生徒の実態に即した授業づくりと教育課程の編成に努め、一人一人の主体的な学びを支援する。  
○児童生徒が安全・安心して過ごせる学校を目指し、危機管理体制の充実を図る。  
○地域社会とつながり、交流および共同学習やキャリア教育を推進する。  
○児童生徒の人権を尊重し、様々な経験を通して自己理解や自己受容をすすめ、自己肯定感の向上を促す。

業務改善のための取組  
・DX推進による業務の効率化  
・ビジョンを共有したチームづくり  
人権教育の推進  
・多様性を認め合う共生社会の推進  
・いじめのない安心した学校づくり

重点目標

深い学び	安心安全にくらす	自分らしくいきる			学校づくり
		かかわりを広げる	自分を知る	将来の自分を考える	
協働して指導計画を練り上げ、子どもの深い学びへとつながる授業づくりを目指す。	現状や課題を踏まえて、危機管理体制のさらなる充実を目指す。	地域との豊かな関係性をつくり、地域生活を広げる力を育てる。	主体性や意欲を育み、自ら選択したり決めたりできる機会を増やす。	進路や生活の情報を得ながら、自らの将来を主体的に考え、与えられた役割を果たす力を育てる。	心身の健康維持や協働できる組織づくりを通して、互いの成長を支え合う。
<p>具体的取組</p> 教員が協働して各教育課程の年間指導計画や単元計画などの立案や授業づくりを行う。 <p>目標</p> 校内研究や授業担当者会などで協議し、各教科の視点や観点別評価を意識して年間指導計画を見直し、単元や授業を計画する。 (80%以上)	<p>具体的取組</p> 実際の災害や事案を想定した訓練や対応を通して、危機管理や教職員間の連携、連絡体制について理解し、自分で考え行動する。 <p>目標</p> 災害や事案に対して、教職員間で連携して対応する力を身に付ける。 (80%以上)	<p>具体的取組</p> 交流学习や校外での活動を通して、地域とかかわることへの意識を高める。 <p>目標</p> 地域とのかかわりを意識した交流学习や地域資源を活用した学習活動等を計画し、実践する。 (80%以上)	<p>具体的取組</p> 学習活動や生活場面を通して、児童生徒が好きなことや得意なことを知り、自分で選択したり決めたりできるような機会を増やす。 <p>目標</p> 児童生徒が、自分で選択したり決めたりできるようにする。 (80%以上)	<p>具体的取組</p> 「進路と生活の情報BOOK」を活用して、進路選択に必要な情報や各学部で大切にしたいことについて、児童生徒や保護者と共有する。 <p>目標</p> 児童生徒や保護者が、将来の生活やそのために大切なことについて考える機会を持てるようにする。 (70%以上)	<p>具体的取組</p> 学び合い高め合い、ケアし合う組織としての学校づくりを進める。 <p>目標</p> a：自らの役割を理解し、協力して全国大会の運営準備を行う。 b：安全安心な身体介助の方法を学ぶ。 c：デジタル化できる業務を個人やグループで考え、実践する。 (80%以上)